

- 原著 -

長野赤十字病院口腔外科における時間外患者の臨床統計的観察

田尻 朗子, 横林 敏夫, 清水 武, 五島 秀樹, 鈴木 理絵, 近添 真也

長野赤十字病院口腔外科
(主任: 横林敏夫 部長)

Clinico-statistical Observation of Emergency Patients on
holiday and overtime at Department of Oral and Maxillofacial
Surgery, Nagano Red Cross Hospital

Akiko TAJIRI, Toshio YOKOBAYASHI, Takeshi SHIMIZU,
Hideki GOTO, Rie SUZUKI, Shinya CHIKAZOE

Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nagano Red Cross Hospital
(Chief: Dr. Toshio YOKOBAYASHI)

平成13年11月23日受付 12月1日受理

Key words : Clinico-statistical Observation (臨床統計的観察) Emergency patients on holiday and overtime (時間外患者) Oral and Maxillofacial Surgery (口腔外科)

Abstract: Emergency patients who visited Nagano Red Hospital on holidays and overtime for dental and oral surgical treatment between July 1997 and March 2000 were studied. The results were as follows:

1. The total number of patients was 659 which consisted of 381 males (57.8%) and 278 females (42.2%) with a peak in the third decade in the age distribution.
2. Thirty five patients (5.2%) were brought to our hospital by ambulance.
3. Patients living in Nagano city accounted for 76.9% of the population.
4. The patients visited us most often in August and December, on Saturday and Sunday and between 18 and 21 o'clock.
5. The use of emergency room was the first experience for 539 patients (80.8%).
6. Sixty three patients (9.4%) were referred to us, mostly from dental clinics.
7. Pain seen in 295 patients (44.2%) was the most frequently encountered chief complaint.
8. Soft tissue injuries were seen in 141 patients (21.1%). Including jaw bone fractures, trauma accounted for 43.6% of the diagnoses.
9. Forty patients were hospitalized.

With the increase of emergency patients in our hospital, the rate of patients requiring oral surgical treatment has increased. Thus our clinic functions as an important emergency institution as well for oral and maxillofacial surgery in the Nagano district.

抄録: 1997年6月から2000年5月までの3年間に、長野赤十字病院の救急外来を休日および時間外に受診した歯科口腔外科疾患患者についての臨床統計的観察を行い、以下の結果を得た。

1. 対象期間中における休日および時間外患者総数は、659名、667症例で、性別は男性381名(57.8%)、女性278名(42.2%)、年代別では、20歳代が最も多かった。
2. 来院方法は、救急車で搬送されたものは、35例(5.2%)であった。
3. 居住地別をみると、長野市内が507名と最も多かった。

4. 月別では8月, 12月が他の月より多く, 曜日別では土曜日, 日曜日が他の曜日より多かった。
5. 時間別では18時から21時が最も多かった。
6. 当科受診の既往については, 今回初めて受診した者が539名(80.8%)であった。
7. 紹介医療機関については, 文書で紹介されたものは, 63例(9.4%)で, 歯科開業医が半数を占めていた。
8. 主訴については自発痛が295名(44.2%)と最も多かった。
9. 診断では軟組織損傷が141名(21.1%)で多く, 顎骨骨折を含めた外傷が43.6%を占めていた。
10. 当日入院を必要とした者は40例(6.0%)であった。

以上, 当院の救急外来患者数は年々増加に伴い, 口腔外科の疾患の占める割合も増加しており, 救急医療においても当院が長野北信地域における口腔外科の基幹病院として重要な役割を果たしていることが示唆された。

結 言

長野赤十字病院は, 814床25診療科を有する長野県北信地域の中核医療施設で, 1981年に救命救急センターを設置し, 北信地域(実質的には主に長野市周辺)の3次救急医療を行い, 同時に長野市医療圏の2次救急(輪番制)の約3分の2を受け持っている。当科も1983年10月の開設以来, その役割の一端を担ってきた。

近年, 週休2日制の普及や社会活動の時間帯の多様化などにより時間外に受診する患者が増えているが, 歯科口腔外科疾患の実態についての報告はきわめて少ない。そこで, 今回, 私達は, 当科における時間外患者の実態を明らかにする目的で, 1997年6月から2000年5月までの3年間に当院の救急外来を休日および時間外に受診した歯科口腔外科疾患患者について臨床統計的観察を行ったので, その概要を報告する。

対 象

対象症例は1997年6月から2000年5月までの3年間に長野赤十字病院の救急外来を休日および時間外(平日16時45分以降翌日8時半, 第2, 4土曜日12時半以降)に受診した歯科口腔外科疾患患者659名, 667例である。これは, 同期間の当院全科における休日および時間外患者42,066例の1.6%であった。

結 果

1. 性別および年齢別患者数

性別では, 男性が381名(57.8%), 女性が278名(42.2%)で男性の方が多く, 男女比は3:2であった。

年齢別では, 20歳代が175名(26.6%)と最も多く, 次いで10歳未満の160名(24.3%), 10歳代の76名(11.5%), 30歳代の75名(11.4%)の順であった。10歳未満と20歳代で全体の約半数を占めており, 以下高齢になるに従って患者数が少なくなる傾向がみられた。

なお最年少は, 生後5か月の女児で, 最高齢は96歳の男性であった。(図1)

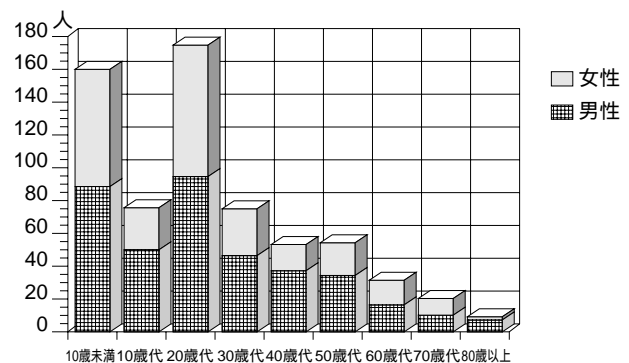


図1 性別および年齢別患者数

2. 来院方法別症例数

来院方法は, 救急車で搬送されたものは35例(5.2%)であった。なお院内入院中のものも2例(0.3%)あった。

3. 居住地別患者数

患者の居住地についてみると, 長野市が507名(76.9%)と最も多かった。長野市以外の県内は120名(18.2%)で, その内訳は長野市に隣接する上水内郡が35名(5.3%)と最も多く, 次いで, 更埴市24名(3.6%), 須坂市16名(2.4%), 埴科郡14名(2.1%)の順であった。県外も32名(4.9%)みられた。(図2)

4. 受診月別症例数

月別平均については, 8月が29例(12.9%)と最も多く, 次いで, 12月が24例(10.7%), 1月が20例(8.9%)の順であった。これに対し2月は12例(5.4%)と最も少なかった。(図3)

5. 受診曜日別症例数

曜日別については, 土曜日が149例(22.3%), 日曜日が146例(21.9%)で他の曜日より圧倒的に多数を占め